

校長室からのお知らせ

7月2日 NO.13

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

創立記念日

明治5年7月に郷学校として設立され、泉州7番小学校→新在家小学校→公立新在家小学校→村立新在家簡易小学校→村立新在家尋常小学校→公立三田小学校→村立新在家尋常小学校→村立新在家尋常小学校→山直尋常小学校→山直尋常高等小学校→山直北尋常高等小学校→山直北国民学校→岸和田市立山直北国民学校と様々な校名を経て、昭和22年4月に岸和田市立山直北小学校となりました。

校長室には、「沿革誌」という山直北小学校の記録を記した冊子（大切なものですが、かなり古くて触るだけでも痒くなりそうなものです）があります。調べてみますと、明治41年の女の子が142人、男の子が205人の計347人が通っていたのが一番古い記録のようです。その後は児童数が増えていき、昭和48年には女の子が636人、男の子が712人の合わせて1348人の子どもが山直北小学校で学んでいたのがピークのようです。

私は昭和42年生まれで、尼崎市の小学校に通っていましたが、一つの学年が6クラスあり、1クラスの人数が45人まででしたので、250人以上の同級生がいたようです。6年間で1度も同じクラスにならなかつた子どもも多く、名前も顔も知らないまま6年間を過ごし、卒業したあとに同じ小学校の出身と分かり驚いた記憶があります。山直北小学校を卒業された私と同年代の地域の方で、同じような経験をされた方もおられるのではないのでしょうか。

さて、昭和から平成そして令和へと時代が変わっていくにつれ、少しずつ子どもの数は少なくなり、現在は640名を少し超えるくらいです。昭和48年のピーク時の半分くらいの児童数になっています。それでも、岸和田市の中では、大規模校に位置しています。

もうしばらくは、100人を超える新1年生を迎えることができますが、5年後は100人を大幅に下回り、80人程度になると予想されています。市全体でも子どもの数が減っており、少子化問題は深刻になってきています。

お知り合いに岸和田市への転居を考えておられる方がいましたら、ぜひとも山直北小学校校区をおすすめ願います。